

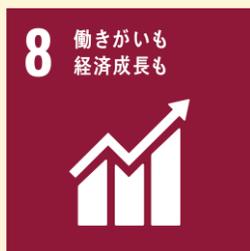
# ATグループ SDGs宣言

私たちATグループは、サステナブル社会の実現を目指し、誰もが豊かに暮らせる未来に向けて、挑戦しつづけていきます。

2022年2月17日  
株式会社ATグループ  
代表取締役社長 山口 真史



従業員と  
その家族の  
健康増進



従業員の  
働きがい  
向上



モビリティ  
ソリューション  
への挑戦



CO<sub>2</sub>削減  
への対応

# 私たちのSDGsのとりくみ

3 すべての人に健康と福祉を



## 移動支援に関する取り組み

11 住み続けられるまちづくりを



### ● デマンド型交通サービス〈チョイソコ〉

ATグループは(株)アイシンが展開するデマンド型交通サービス『チョイソコ』に携わっています。トヨタ販売店ネットワークなどを活用し単なる〈移動〉の手段に留まらず、地域の皆さんが“ちょっと”でも外出したくなる機会を創造し豊かで健やかな暮らしのお手伝いをしています。



### ● 近距離モビリティ 〈WHILL〉 〈セニアカー〉

「100m先のコンビニをあきらめない」、あらたな〈移動〉の喜びをアトコと愛知スズキ販売は〈移動〉のための新しいカタチをご提案します。



WHILL Model C2



スズキセニアカー ET4D

13 気候変動に具体的な対策を



## 環境への取り組み

15 陸の豊かさも守ろう



### ● 愛知トヨタのグリーンプロジェクト

愛知トヨタ自動車は、ハイブリッドカー&水素カーMIRAIの販売1台につき100円を「あいち森と緑づくり基金」に寄付する『愛知トヨタのグリーンプロジェクト』を実施しています。次の世代に豊かな自然を残せるようこれからも地域の緑化活動に一層の貢献をしていきます。



## ● 環境認証取得

ATグループは、2003年の愛知トヨタのISO14001取得を皮切りに、各社が独自で環境認証を取得してきました。

2018年には、ATグループが主体となり、EA21のグループ包括認証をスタートさせ、2020年にグループ全社の環境認証取得が完了しました。



環境省

エコアクション21



ISO14001



4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいの  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを



# 地域・社会に貢献する取り組み

## ● クルマづくり究めるプロジェクト

ATグループは、公益財団法人あすて(豊田市)が運営する小・中学生対象の『クルマづくり究めるプロジェクト』に指導員を派遣し、子どもたちの「ものをつくる心」を育み、思考力や発想力、創造性を高めるお手伝いをしています。



トヨタパブリカ レストアの様子

## ● ハンディキャップマラソン

トヨタL&F中部は、名古屋市栄で開催される『名古屋シティハンディキャップマラソン』に2009年よりボランティアスタッフとして参加しています。



## ● オートタウンキッズパーク

愛知トヨタ自動車は、子どもたちが思いっきり遊んだり、たいそう教室や絵本の読み聞かせなど親子で楽しめる屋内施設『オートタウンキッズパーク』を運営しています。





# 防災に関する取り組み

## 災害義援金

ATグループは、日本国内で甚大な自然災害が発生した際、日本赤十字社を通じて被災各地に対し積極的な支援を行っています。

【令和3年度実績】

- ・令和3年7月大雨災害に対する義援金
- ・令和3年8月「台風第9号等大雨」ならびに「8月大雨」による被害に対する義援金



写真出典：財団法人消防科学総合センター  
災害写真データベース

## 徒歩帰宅支援ステーション

ATグループは、「災害時における徒歩帰宅者支援に関する協定」を愛知県と締結。グループ会社の拠点(\*)を災害時の『徒歩帰宅支援ステーション』として登録しています。

※愛知県内258カ所  
(立地条件、規模等を考慮し対応不可と判断した拠点を除く)



## 名古屋市地域防災協力事業所

ATグループは、名古屋市内に所在するグループ会社の拠点88カ所(\*)を名古屋市の『地域防災協力事業所』として登録しています。

※地下街の店舗など立地条件から登録に相応しくない店舗や該当地域の判断で登録不要と判断された店舗を除きます



愛知スズキ販売による  
滝子通一・二丁目町内会との協定締結の様子